



## 日医医師年金

### 加入促進月間にちなみ

常任理事 鈴木 忠 男

公的年金制度は老後の所得保障として国民に定着し、幾多の制度改正を経て発展・充実が図られてきました。

しかし、バブル崩壊後、長引く経済の不況、加えて将来年金制度を担う若年世代の減少、さらに平均余命の伸長により年金受給者の増加等々、公的年金をめぐる環境はますます悪化の一途を辿っています。21世紀に入るといずれば老後の生活を支える柱としての役割を失い、すでに各々の国民が自衛策を講じなければならない時代が始まっていると言っても過言ではありません。

こうしたなか、平成10年5月20日、都道府県医師年金・福祉担当理事連絡協議会が日医にて開催され、本年度より受託会社依存の募集体制から、医師会組織を中心とする新たな募集活動を行うことになり、それに伴い、北海道医師会においても本年度の日医医師年金加入促進運動を10月末日まで展開することになりました。

日本医師会が会員の福祉事業として運営し、普及推進に力を入れている日医医師年金の特色を簡単に紹介します。会員の皆様にご検討いただく際の参考になれば幸いです。

医師年金制度は昭和43年に発足以来30年を経過し、現在54,000人余りの加入者と7,000億円余りの資産を有する我が国最大規模の私的年金に成長しました。

年金財政は、長い厳しい経済環境により、平成10年4月1日より計算利率を5.5%から3.0%に引き下げられましたが、それでも現在の市中銀行の預金利率や生命保険会社の個人年金保険の計算利率1.75%、さらには他の類似団体の年金利率と比較しても、非常に有利な制度としてご好評をいただいております。

その特色の第1は、会員の先生方の将来受け取る年金額を自己の生活設計に沿って、自由に設定でき、掛金は上限なく、いつでも、いくらでも掛けられ、その時々のお生活に合わせて変更もできることです。

特色の第2は、年金の受取開始時期は原則として65歳からですが、先生方の選択により自由に延長も短縮もできます。また年金は終身年金として受け取れることを基本としておりますが、一定期間の確定年金として受け取ってもかまいません。これらの受給コースの選択は、受給を開始する時に決定していただくことになっており、ご加入時にお決めいただく必要はありません。

また、すでに積み立てられた加算年金の全部または一部をご子弟の育英年金として受け取れることもできます。さらに傷病により診療に従事できないときには、傷病年金として受け取ることもできます。万一、ご加入後1年以上経過し、受給前に加入者がお亡くなりになられた場合には、積立金の元利合計の他に300万円の死亡一時金も支給されます。なお終身年金を受け取っている方が、仮に支給開始後15年以内にお亡くなりになられた場合は、残余期間はご遺族に支給されます。5年、10年、15年の確定年金の場合も同様です。

医師年金資産の管理運用につきましては、昨年10月より運用収益の一層の向上を目指して、新たに外資系信託（モルガン信託）および投資顧問会社（東京海上AM）を採用し、さらに既存受託会社（信託銀行5社、生命保険会社5社）のシェアの大幅な変更を実施しました。運用収益が低い財務体力の乏しいところから、運用収益が高い財務体力のある会社へ年金資産の大幅な委託替えを行い、資産管理の安全確保と運用収益の向上に努め

ています。このように日本医師会医師年金制度は医師による医師のための年金として他の年金制度には例のない多くの利便性と優位性を備えています。公的年金制度のあり方が根本から問われている今日、自らの老後の生活を豊かにするには日医年金への加入が理想的であり、道医の会員の皆様も本年度の加入促進月間であります10月末日ま

で、ご検討いただき、ぜひご加入下さい。また将来の生活設計は、いうまでもなく早めに立てた方がより効果的です。特に若い先生方にはぜひこの機会にご加入いただき、有効にご利用いただきますようお勧めいたします。

なお、日医年金に関するお問い合わせは北海道医師会「会員課」へご連絡下さい。

平成10年 9月  
日本医師会 会員各位

日本医師会  
会長 坪井 栄 孝

#### 日本医師会年金制度へのご加入のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平均寿命の伸びに伴い、長い老年期の生活を豊かで充実したものにするためには、将来の生活設計を若いときから自分自身で真剣に考えておくことが必要です。

本会では、会員の福利厚生のため日本医師会年金を運営しておりますが、お陰様にて、昭和43年発足

以来30年近くを経過し、平成9年9月末現在54,000人の加入者と7,000億円余の資産を有する我が国最大規模の私的年金に成長いたしました。

本会では、従来から時代の要求に合わせた制度の改善を行い、医師のための年金として内容の充実を図ってまいりました。また、昨今の厳しい経済環境を乗り越えるため、本年4月より年金給付のための計算利率を3.0%とする制度の見直しを実施しました。今後とも、資産管理運用の強化を図り、他の年金に比べて魅力ある制度として、更に発展できるよう努力する所存です。

将来の生活設計は早めに立てた方がより効果的です。会員の皆様には、この機会に日本医師会年金をご検討いただき、ぜひ加入されますようご案内いたします。

敬 具

平成10年 9月  
日医年金未加入者各位

北海道医師会  
会長 吉 田 信

#### 日本医師会年金ご加入のお勧め

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

長引く経済の低迷、さらに急速な少子・高齢化社会の進行により、厚生年金の給付水準の引下げ等の改正、および他の公的年金自体も将来にわたって現制度を維持していくことが懸念される今日、会員の皆様におかれましては、早いうちから自らの老後の生活設計が必要と痛切に感じる時代となりました。

このたびお勧めいたします日医年金は30年以上の実績を有し、昨今の厳しい経済環境の中であえて

3%の利率で給付を行う制度として、会員の福利厚生の一翼を担っています。資産は現在7,000億円を越え、今やわが国最大の私的年金として着実に成長しております。

現役を退いても、豊かな老後の生活を維持していくには、早いうちから日医年金へのご加入が最良であります。

未加入会員の皆様には、是非この機会にご加入をお勧めいたします。

なお、個人開業医の先生には公的年金として、日本医師・従業員国民年金基金（共済年金・厚生年金等の加入者は除く）と当年金を組み合わせることにより、老後の生活がさらに豊かになり、より理想的となりますことを申し添えます。

敬白

医業経営・福利厚生部  
(会 員 課)